

共に 「学び、思いやり、鍛え」 歩む

八代中学校「校長室だより」 No.11

校訓

自主 誠実 工夫

令和6年10月31日(木)

文化祭に向けて ～ 心をひとつに ～

いよいよ、文化祭の開催が迫ってきました。どんな文化祭になるのか、どんなに八中生が輝くのか、今から楽しみです。

先週から、終わりの会の時間を延長して、学級ごとに合唱練習が始まっています。体育館、多目的室、音楽室などを使って、合唱リーダーを中心に練習を積み重ねています。「最後の終わり方は、今までのように同じテンポで歌う方が良いか。それとも、スローペースでちょっとゆっくり歌う方が良いか。」みんなで歌いながら、気持ちが伝わるのはどちらか、歌いやすいのはどちらか、議論していました。歌を歌っているときの生徒の顔は真剣そのものでした。29日(火)の終わりの会での歌声を本館の一階で聞いておられた用務員の山岡さんは、「すごい!!上手!!鳥肌が立った。」と感激されていました。



また、音楽の授業では、本番さながら、体育館での合唱練習を積み重ねてきています。会場が広く、声が良く響くので、気持ちよく歌うことができているようです。指揮の仕方について、三好あかね先生からアドバイスをいただいたり、ピアノを弾いている伴奏者から、「もっと大きな声で気持ちを込めて」「ここは、だんだん強く」「明るい表情で」など、互いに気付いたことを注意し合ったりしていました。

さらに、昼休みの時間、自主的に希望者を募り、自分たちで合唱練習をしている学級もありました。大きな紙に書かれた歌詞に、「ここは強く」「だんだん大きく」「言葉をはっきり」など、歌い方や注意することを書き加え、自分たちの気持ちがより伝わるように歌い方を工夫したりしていました。



このように、どの学級も合唱コンクールで優勝することを目指して、学級がまとまってきています。心がひとつになってきました。練習を始めた頃は、一生懸命練習しなかったり、リーダーの呼び掛けを聞かなかったりする様子が見られました。しかし、今となっては、一生懸命、本気で、取り組む集団になってきました。これは八中生が、校長室だより No.10 で書いた「八中生のみなさん!!居心地の良い学級・学校になるように、今、自分の行動を変えましょう。友達の自分に対する気持ちや言葉や行動を、全て受け入れる、受け止める、分かろうとすること、つまり、友達を大切に思って行動するように変えていきましょう。」を実践しているからだと思います。各学級が「居心地の良い学級」に近づいてきているということです。

文化祭までに練習できるのは、明日(11月1日)のみになりました。頑張れ!!八中生!!

すばらしい!!

29日(火)の4時間目、1年2組・3組は、グラウンドでソフトボールをしていました。授業が終わりに近づいたころ小雨が降ってきたので、生徒の靴には土が付いていました。保健体育を終えた1年2組・3組のみなさんは、靴に付いた土を落とすマット(右写真)で土を落としてから、本館の中央通路を通っていました。お陰で、中央通路はきれいなままでした。すばらしい!



(文責 河野 靖)